

東京マックス美容専門学校

専門課程 美容科

シラバス

2024年度

開講課程	専門課程	開講学科	美容科
開講年度	2024	対象年次	2年
授業科目名	関係法規・制度	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	30
授業の到達目標 及びテーマ	美容師の業務に関する衛生及び消費者保護の法規・制度について正しい理解と知識の習得。美容の業務に関する規定内容を正確に理解すると共に、美容業を行う場合の指針として有する意義を把握する。		
講義概要	講義形式を基本とする。 美容師として働く又は開設者として必要になってくる法規・制度についての知識と理解を習得する。		
授業計画及び 学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会生活における法の役割 ・ 法の形式 ・ 衛生法規の概要 ・ 理容師法・美容師法と附属法令 ・ 衛生行政の概要 ・ 衛生行政の意義と歴史 ・ 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容 ・ 衛生行政を担う行政機関 ・ 理容師法・美容師法 用語の定義 ・ 人（理容師・美容師）に関する規定 ・ 施設（理容所・美容所）に関する規定 ・ 立入検査と環境衛生監視員 違反者等に対する行政処分 ・ 罰則 ・ 衛生に関連する法律 ・ 業の振興に関連する法律 ・ 雇用に関連する法律 ・ 消費者保護に関する法律 		
成績評価方法	筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 （満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする） 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。		
授業の特徴	社会科教員の経験を活かし、社会と美容師、法律との関係の理解を深める 授業を展開する。		
担当教員	実務経験	実務教員	担当時間数
乙川 博	元私立桜丘中学・高等学校社会科教諭、校長		30

開講課程	専門課程	開講学科	美容科
開講年度	2024	対象年次	1・2年
授業科目名	衛生管理	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	90
授業の到達目標 及びテーマ	美容師が公衆衛生にどのように関わり公衆衛生の維持と増進を担わなければならない理由を十分に理解する。美容師の業務内容と感染予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを学び、美容における衛生措置の重要性について理解する。消毒法において、その意義と原理を十分に理解し、適正な実施方法を身につける。		
講義概要	講義形式を基本とする。 美容師として、又は開設者として公衆衛生がどのように必要で、どのように携わり、衛生的措置を維持していくための知識を習得する。		
授業計画及び 学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆衛生の意義と課題 ・ 理容師・美容師と公衆衛生 ・ 保健所と理容業・美容業 ・ 保健 ・ 母子保健 ・ 成人・高齢者保健 ・ 精神保健 ・ 環境衛生の概要 ・ 空気環境 ・ 衣服・住居の衛生 ・ 上・下水道と廃棄物 ・ 衛生害虫とネズミ ・ 環境保全 ・ 人と感染症 ・ 感染症と法律 ・ 感染症の分類 ・ 病原微生物 ・ 感染症の予防 ・ 汚染、感染および発病 ・ 免疫と予防接種 ・ 感染症予防の三原則 ・ 理容業・美容業と感染症 ・ 主な感染症 ・ 標準的な予防策・対応 ・ 消毒とは、消毒の原理 ・ 消毒の意義 ・ 理容・美容の業務路消毒との関係 ・ 消毒法と適用上の注意 ・ 殺菌法（理学的、化学的消毒法） ・ すぐれた消毒法とその実施上注意 ・ 各種消毒薬 ・ 理容所・美容所の消毒の実際 ・ 理容所・美容所の清潔法の実際 		
成績評価方法	筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 (満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、		

6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする)

及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。

<p>授業の特徴</p>	<p>担当教員は管理薬剤師、医療機器製造責任技術者としての実務経験を活かし、消毒の必要性、消毒方法を学習していく。 また、美容師は公衆衛生に大きく関わっていることを伝え、感染症の理解を深めた上、予防衛生への理解を深める。</p>		
<p>担当教員</p>	<p>実務経験</p>	<p>実務教員</p>	<p>担当時間数</p>
<p>藤原 博</p>	<p>フジケミカル株式会社（医薬部外品、化粧品メーカーにて医療機器製造責任技術者）、学校法人昭和大学兼任講師,(有)フジメディコム代表取締役（管理薬剤師）</p>	<p>○</p>	<p>76</p>
<p>福村 基徳</p>	<p>学校法人昭和大学での助教授、薬剤師（保健調剤薬局での調剤や服薬指導などで従事。衛生管理や、人体への影響などに配慮をしながら勤める）</p>	<p>○</p>	<p></p>
<p>鈴木 亮馬</p>	<p></p>	<p></p>	<p>14</p>

東京マックス美容専門学校

開講課程	専門課程	開講学科	美容科
開講年度	2024	対象年次	1・2年
授業科目名	保健	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	90
授業の到達目標 及びテーマ	人体について、皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する知識を習得する。美容の業務を安全かつ効果的に行うために、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識を理解する。		
講義概要	講義形式を基本とする。 美容の業務を安全かつ効果的に行うために、皮膚、毛髪などに関する正確な知識を身につける。		
授業計画及び 学習の内容	人体の構造及び機能 <ul style="list-style-type: none"> ・ 頭部、顔部、頸部の体表解剖学 ・ 骨角器系 ・ 筋系 ・ 神経系 ・ 感覚器系 ・ 血液と免疫系 ・ 循環器系 ・ 呼吸器系 ・ 消化器系 皮膚科学 ・ 皮膚の構造 ・ 皮膚付属機関の構造 ・ 皮膚の循環器系と神経系 ・ 皮膚と皮膚付属機関の生理機能 ・ 皮膚と皮膚付属機関の保護 ・ 皮膚と皮膚付属機関の疾患 		
成績評価方法	筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 （満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする） 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。		
授業の特徴	皮膚、毛髪などの講義に関する内容は、美容業務との関連づけながら進める。担当教員はその経験から、皮膚、毛髪の保健衛生と、衛生管理を関連させながら進める。		
担当教員	実務経験	実務教員	担当時間数
福村 基徳	学校法人昭和大学での助教授、薬剤師（保健調剤薬局での調剤や服薬指導などで従事。衛生管理や、人体への影響などに配慮しながら勤める）	○	36
堀内 正子	星薬科大学での助教として従事		54
蓼沼 佳代子			

開講課程	専門課程	開講学科	美容科
開講年度	2024	対象年次	1・2年
授業科目名	化粧品化学	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	60
授業の到達目標 及びテーマ	化粧品の科学的知識と正しく使用するための取り扱い方法を学び、化粧品による危害を防止するための知識を身につける。		
講義概要	講義形式を基本とする。 化粧品の知識を深め、化粧品の効果や効能、危害の有無などを学び、化粧品を安全かつ有効に使用するための知識を習得する。		
授業計画及び 学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化粧品とは ・ 化粧品と造形 ・ 化粧品の効果とプロセス ・ 化粧品の使用による症状 ・ 化粧品の定義と法規制 ・ 化粧品の安全性と安定性 ・ 化粧品の成り立ち ・ 水と親水性溶媒 ・ 油脂原料 ・ 界面活性剤 ・ 高分子化合物 ・ 色材 ・ 香料 ・ 製品を安定させる配合原料 ・ その他の機能性配合原料 ・ 雑貨原料（合成樹脂、接着剤、塗料） ・ 化粧品の効果と使用プロセス ・ クレンジング用化粧品 ・ コンディショニング用化粧品 ・ トリートメント用化粧品 ・ メイクアップ製品の種類と剤形 ・ ベースメイクアップ化粧品 ・ ポイントメイクアップ化粧品 ・ アイメイクアップ化粧品 ・ まつ毛ケア製品 ・ ネイルメイクアップ製品 ・ ネイルケア製品 ・ ヘアクレンジング用化粧品 ・ ヘアコンディショニング用化粧品 ・ ヘアスタイリング料 ・ パーマ材 ・ ヘアカラー製品 ・ スカルプケア製品 		
成績評価方法	筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 (満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、		

	6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする) 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。		
授業の特徴	美容業界で使用されている化粧品についてその有用性や危険性などを学び、実践で顧客に対してアドバイスができる知識を会得する。担当教員はその経験から化粧品の成分などの詳細の知識を指導する。		
担当教員	実務経験	実務教員	担当時間数
馬上 美雪	元日体荏原高等学校の教員		56
山口 卓	元株式会社BML PCL細胞診課	○	2
藤原 博	フジケミカル株式会社（医薬部外品、化粧品メーカーにて医療機器製造責任技術者）、学校法人昭和大学兼任講師、(有)フジメディコム代表取締役（管理薬剤師）	○	2

東京マックス美容専門学校

開講課程	専門課程	開講学科	美容科
開講年度	2024	対象年次	1・2年
授業科目名	文化論	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	60
授業の到達目標 及びテーマ	美容業として必要な優れた表現力を身につけるために必要な美的感覚を身につけ、芸術的な表現力を美容技術とあわせて養う。		
講義概要	講義形式を基本とする。 これからのファッションを創作していくために、ファッションの変遷を学び基本となる知識を学ぶ。		
授業計画及び 学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の美容業の歴史 理容業・美容業の発生 江戸時代の美容業 近代の美容業 現代の美容業 ・ ファッション文化史日本編 縄文・弥生・古墳時代 古代（飛鳥・奈良・平安時代） 中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代） 近世（戦国末・安土桃山時代） 近世（江戸時代） 近代（明治・大正・昭和20年まで） 現代（1945年～1950年代） 現代（1960年代～1970年代） 現代（1980年代～1990年代） 現代（2000年代以降） ・ ファッション文化史西洋編 古代エジプト 古代ギリシャ・ローマ 古代ゲルマン 中世ヨーロッパ 近世（16世紀） 近世（17世紀） 近世（18世紀） 近代（18世紀末～19世紀初め） 近代（19世紀） 現代（1910年代～1920年代） 現代（1930年代～1940年代前半） 現代（1940年代後半～1950年代） 現代（1960年代） 現代（1970年代） 現代（1980年代） 現代（1990年代～2010年） ・ 礼装の種類 		

授業の到達目標 及びテーマ	美容業として必要な優れた表現力を身につけるために必要な美的感覚を身につけ、芸術的な表現力を美容技術とあわせて養う。		
	和装の礼装 洋装の礼装		
成績評価方法	筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 (満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、 6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする) 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。		
授業の特徴	芸術の観点から美容の文化が時代とともに変化し現代へと繋がるデザインの変遷を学ぶ		
担当教員	実務経験	実務教員	担当時間数
宮地 豊	彫刻家		2
蓼沼 佳代子	教育センター「美容文化論」受講		58
笠井 雅末	教育センター「美容文化論」受講		

開講課程	専門課程	開講学科	美容科
開講年度	2024	対象年次	1・2年
授業科目名	美容技術理論	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	150
授業の到達目標 及びテーマ	美容の業務を安全かつ効果的に行うため、美容用具の正しい取り扱いの方法と美容の基礎的技術を理解する。優れた美容技術を身につけるために、土台となる確かな基礎技術の方法を学ぶ。		
講義概要	講義形式を基本とする。 美容技術を継承、発展していくために必要な基となる知識を習得する		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美容理論と美容技術 美容技術における作業姿勢 美容技術に必要な人体各部の名称 ・ 美容用具 美容技術における用具、コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、遠赤外線機 ・ シャンプー サイドシャンプー、バックシャンプー、リンス、コンディショナー、トリートメント、スカルプトリートメント シャンプー剤の構成成分 ヘアトリートメント剤の構成成分 ・ ヘアデザイン 美容とデザイン ・ ヘアカットイング シザーズとレザーの扱い方 ヘアカットイングの基礎理論 ベーシックなカット技法 シザーズ、レザーによるカット技法 ・ パーマネントウェーピング パーマネントウェーブの理論 パーマ剤の分類 パーマ剤に関する注意事項 パーマネントウェーブ技術 縮毛矯正 ・ ヘアセッティング ヘアパーティング、ヘアシェーピング ヘアカーリング、ヘアウェーピング、ローラーカーリン ブロードライ、アイロンセッティング バックコーミング、アップスタイル ヘアセッティングの応用 ・ ヘアカラーリング ヘアカラーの種類 ヘアカラーのタイプ別特徴 染毛のメカニズム 色の基本 		

授業計画及び
学習の内容

毛髪のレベルとアンダートーン
パッチチテスト（皮膚貼布試験）
染毛剤使用時の注意事項
ヘアカラーリングの道具
酸化染毛剤（アルカリ性タイプカラー）の技術手順
酸性染毛料の技術手順

- ・ エステティック
皮膚の生理と構造
カウンセリング、美容におけるマッサージ理論
フェイシャルケア技術、フェイシャル及びデコルテマッサージ
フェイシャルパック、ボディケア技術、ボディマッサージ
- ・ ネイル技術
ネイル技術の種類
爪の構造と機能
爪のカット形状
ネイル技術と公衆衛生
カウンセリング
ネイルケア
アーティフィシアルネイル
手と足のマッサージ
- ・ メイクアップ
メイクアップ概論
フェイスプロポーション
色彩について
パーソナルカラー
用具の種類と消毒方法
ブライダルメイクアップ
肌質別修正メイクアップ
まつ毛エクステンション
- ・ 日本髪
各部と名称、種類と特徴
装飾品、結髪道具
結髪技術、手入れ
- ・ 着付けの理論と技術
着付けの目的、着物のいろいろ
礼装、着物と季節
帯、小物、着物各部の名称
着物のたたみ方
留袖、振袖の着付け技術
帯締め、帯揚げの結び方
男子礼装羽織、袴着付け技術
女子袴の着付け技術
婚礼着付けの際の注意事項
和装花嫁、洋装花嫁

筆記試験で判定

試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。

成績評価方法

試験に合格し、満点の割以上を点数と評価する。
(満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、
6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする)
及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。

授業の特徴	担当教員はその経験を活かし美容実習、メイク、ネイルの授業と連動して、技術を裏打ちするための知識を学ぶ。		
担当教員	実務経験	実務教員	担当時間数
杉谷 聡雄	元株式会社ニックイン（美容室）	○	148
遠山 則彦	元エクセル美容室	○	
鈴木 亮馬	元美容室中山	○	
遠山 千裕	元美容室SAKURA	○	
川畑希公代	元ツルミ美容院	○	
草薙 悠乃	元株式会社itto（美容室）	○	
五十嵐 ゆかり	資生堂美容室横浜ロイヤルパークホテル店 / ネイル・ルポ	○	
宮村 あかね	元株式会社アイランド（美容室）	○	
蓼沼佳代子	美容師免許(実務経験9年以上)		2

東京マックス美容専門学校

開講課程	専門課程	開講学科	美容科
開講年度	2024	対象年次	1・2年
授業科目名	運営管理	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	30
授業の到達目標 及びテーマ	経営管理及び労務管理の基本的事項を学習することによって、美容業における運営管理手法の重要性を認識させる。運営において、適切な接客態度の重要性と消費者対応の基本を学び、実践する能力を身につける。		
講義概要	講義形式を基本とする。 美容所の経営にあたり必要となってくる労務管理、運営に必要な知識を習得する。		
授業計画及び 学習の内容	<p>経営とは何か</p> <p>経営者の責任、経営の目的</p> <p>経営の目的、経営戦略</p> <p>理容業、美容業の経営について</p> <p>理容業・美容業を取り巻く社会の変化</p> <p>理容業・美容業における競争</p> <p>理容業・美容業の顧客</p> <p>資金の管理</p> <p>収支と損益</p> <p>会計の考え方</p> <p>税金の申告</p> <p>人という資源とは</p> <p>給与、待遇、福利厚生</p> <p>労働者の権利</p> <p>社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任</p> <p>社会保険 公的年金</p> <p>社会保険 医療保険</p> <p>社会保険 労働保険</p> <p>健康管理の基礎</p> <p>理容・美容の仕事と健康</p> <p>理容業・美容業に特徴的な健康課題</p> <p>理容・美容の作業環境に関する健康問題</p> <p>サービス・デザインの基本</p> <p>サービス・システム</p> <p>システムの詳細、サービスの範囲</p> <p>理容業・美容業のマーケティング</p> <p>マーケティング・リサーチ、サービスの改善</p> <p>コスト</p> <p>コミュニケーション</p> <p>コンビニエンス</p> <p>接客についての理解</p> <p>接客におけるトラブルと対応</p> <p>接客で発生が予想される問題</p> <p>問題を深刻化させないための対策・対応</p>		

成績評価方法	筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 （満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、 6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする） 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。		
授業の特徴	講義形式を基本とする。 元経理担当の視点からサロンの運営方法を中心に、マーケティングや顧客の対応、管理などを学ぶ。		
担当教員	実務経験	実務教員	担当時間数
村岡 克朗	元ジェイアール東日本レンタリース株式会社、経理	○	15
笠井 雅未	教育センター「美容文化論」受講		15

開講課程	専門課程	開講学科	美容科
開講年度	2024	対象年次	1・2年
授業科目名	美容実習	科目区分	必修
授業形態	講義・実技	時間数	900
授業の到達目標 及びテーマ	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実にこなせる技術を身につける。お客様の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身につける。		
講義概要	実習形式、講義形式の両方で実施する。 顧客の要望に応えられる知識と技術の礎となる基礎技術を習得する。		
授業計画及び 学習の内容	<p>1年次</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘアカッティング ワンレングスカット、セイムレングスカット ロッドワインディング（オールパーパス） コームの持ち方、使い方、ブロッキングの取り方、スライスの取り方、ベースの取り方、ストランドの角度と巻きおさまり、毛先の処理とロッドの当て方、輪ゴムのかけ方、アップシェープの巻き方、ダウンシェープの巻き方、スライスと目の位置、ワインディングの巻き順、ワインディング練習による巻きあがり時間の短縮 ヘアカラーリング 塗布技術とコームテクニック、白髪染めの仕方、おしゃれ染めの仕方 ヘアセッティング（アップスタイル） バックコーミング、すき毛の使い方、ヘアピンの種類と使い方、編み込み・ねじりの種類と作り方 アップスタイルを作る シャンプーイング ネックタオルの付け方、シャンプークロスの付け方、ターバンの巻き方、サイドシャンプー実習、スプレイヤーの持ち方、髪の毛の濡らし方・すすぎ方、シャンプーイングの手技、 パーマメントウェーブリング コールド・ウェーブパーマ液の使い方、ウィッグにパーマをかけてみる オリジナルセット（国試スタイル）練習 フィンガーウェーブの作り方、スカルプチュアカールの作り方、国試スタイルの構成練習 まつ毛エクステンション ツイザーの使用方法 施術補助テープの貼り方、テーピング クレンジング エクステンションの取り付け、グルーの使用方法 エクステンションのリムービング <p>2年次</p> <ul style="list-style-type: none"> ロッドワインディング（国試スタイル） ブロッキングの仕方、国試スタイルの構成練習 オリジナルセット（国試スタイル）練習 リフトカールの作り方、メイポールカールの作り方、国試スタイルの構成練習 		

- ・ ヘアカット（国試スタイル）
ブロッキングの仕方、カットの手順、カット方法、カット練習

成績評価方法	<p>実地試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 (満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、 6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする) 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。</p>		
授業の特徴	<p>元美容師の経験を活かし、実習形式の授業で美容理論の内容をベースに知識だけではなく、実践していくためのトレーニングを行う。</p>		
担当教員	実務経験	実務教員	担当時間数
杉谷 聡雄	元株式会社ニックイン (美容室)	○	898
遠山 則彦	元エクセル美容室	○	
鈴木 亮馬	元美容室中山	○	
遠山 千裕	元美容室SAKURA	○	
川畑希公代	元ソルミ美容院	○	
草薙 悠乃	元株式会社itto (美容室)	○	
五十嵐 ゆかり	資生堂美容室横浜ロイヤルパークホテル店 / ネイル・ルポ	○	
宮村 あかね	元株式会社アイランド (美容室)	○	
蓼沼佳代子	美容師免許(実務経験9年以上)		2

東京マックス美容専門学校

開講課程	専門課程	開講学科	美容科
開講年度	2024	対象年次	1年
授業科目名	美容総合技術	科目区分	選択
授業形態	講義・実技	時間数	300
授業の到達目標 及びテーマ	美容技術の基礎からさらに幅を持たせ、様々な顧客のニーズに合わせた施術を行うための技術と知識を身につける。		
講義概要	実習形式、講義形式の両方で実施する。 美容技術、理論で学んだ知識を総合的にまとめ、それぞれ個別の技術からトータルビューティーへと昇華する知識と技術を学ぶ。		
授業計画及び 学習の内容	<p>1年次</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メイクアップ スキンケア、ベースメイクアップ、アイメイクアップ、アイブロウメイクアップ、リップメイクアップ、ブラッシュメイクアップ ・ 着付け 着物のたたみ方、留袖・振袖の着付け方、帯締め・帯揚げの結び方 ・ ネイルトレーニング ネイルケア ポリッシュオフ・ファイリング・クリーンナップ・カラーリング カットスタイルSIJフアイリング、スクエア、スクエアオフ、ラウンド、オーバル、ポイント リペア&イクステンション ・ ウィッグを使用した作品創作 アップスタイル、メイク、ヘアカラー、パーマの技術を使用して作品を作る ・ 相モデルによる作品創作 モデルを使用し、アップスタイル、メイク、ヘアカラー、パーマ、ネイルの技術を使用して作品を作る <p>2年次</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネイルトレーニング ネイルケア チップ&ラップ カラーリング ネイルアート ・ ヘアイクステンション ・ ヘアカラー おしゃれ染め ・ サロン実習 ・ ブロースタイリング ・ ウィッグを使用した作品創作 アップスタイル、メイク、ヘアカラー、パーマの技術を使用して作品を作る 		

	<ul style="list-style-type: none"> モデル使用による作品創作 モデルを使用し、アップスタイル、メイク、ヘアカラー、パーマ、ネイルの技術を使用して作品を作る 		
成績評価方法	提出物（2）、授業態度・取り組み方（3）、出席状況（5）で判定満点の6割以上の点数で及第点とする。 （満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする）		
授業の特徴	講義、実習を織り交ぜ進める。 担当教員はその経験を活かし、美容業界の現場に寄り添った知識、技術を学び卒業後の業務に滞りなくは入れるきっかけを作る。		
担当教員	実務経験	実務教員	担当時間数
杉谷 聡雄	元株式会社ニックイン（美容室）	○	298
遠山 則彦	元エクセル美容室	○	
鈴木 亮馬	元美容室中山	○	
遠山 千裕	元美容室SAKURA	○	
川畑希公代	元ツルミ美容院	○	
草薙 悠乃	元株式会社itto（美容室）	○	
五十嵐 ゆかり	資生堂美容室横浜ロイヤルパークホテル店 / ネイル・ルポ	○	
宮村 あかね	元株式会社アイランド（美容室）	○	
花岡 良江	元有限会社ヴァン（美容室） 代表	○	
戸丸喜代子	元有限会社ヴァン（美容室）、着付け教室を主宰	○	
平井 玲子	元有限会社ヴァン（美容室）	○	